

株主のみなさまへ

第89期 中間株主通信

2016年4月1日～2016年9月30日



豊かで快適な生活のために

2017年3月期 第2四半期の業績

売上高

4,750億円

前期比: +11.7%

営業利益

106億円

前期比: +26.9%

経常利益

119億円

前期比: +26.8%

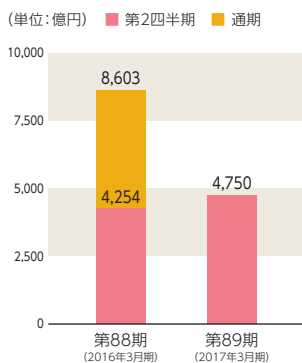
四半期純利益

81億円

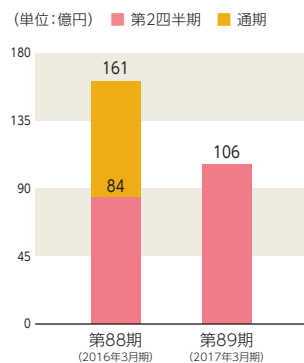
前期比: +30.6%

業績の推移

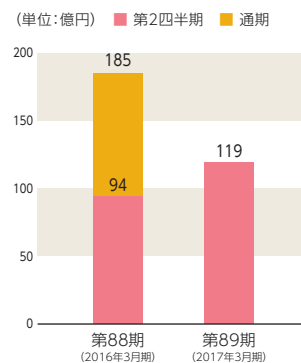
売上高



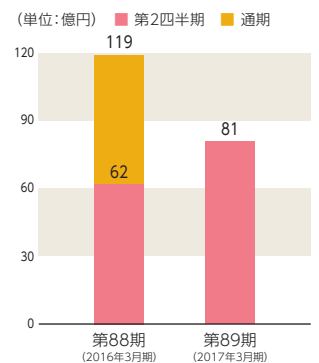
営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



当第2四半期の業績につきましては、継続した生産性向上への取組みの結果、売上高及び各段階利益ともに期初計画を上回り、第2四半期として過去最高を更新することができました。

2017年3月期 通期の業績予想

売上高

9,150億円

前期比: +6.4%

営業利益

190億円

前期比: +18.0%

経常利益

210億円

前期比: +13.2%

当期純利益

145億円

前期比: +21.5%

2017年3月期 通期の業績予想につきましては、第2四半期の実績を加味し、上方修正しております。



将来の持続的成長に向けて、物流機能を最大化するための投資を行ってまいります。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
2017年3月期第2四半期における当社の事業概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長

木村 清隆

2017年3月期第2四半期につきましては、消費マインドにやや足踏みが見られ、インバウンド消費についても常態化してきたことなどもあり、市場環境は横ばいで推移いたしました。

このような状況のなか、当社は将来の事業基盤強化に向けた設備投資として「(仮称)FDC白岡」(埼玉県白岡市)及び「(仮称)FDC広島」(広島市佐伯区)の建設に着手、「RDC沖縄」(沖縄県うるま市)の増設用地取得などを計画し、予定どおり着実に進めております。今後の物量増加に備えるだけでなく、既存の設備を効率的に活用することで、環境に配慮した物流センター運営を追求してまいります。

また、当社最大市場である関東エリアの強化並びにサービス機能の充実及び経営の効率化を目的に、2016年11月に東京支社と関東支社を統合し、東京都北区赤羽において新たに営業を開始いたしました。今回の組織再編により、中間流通業として小売業様・メー

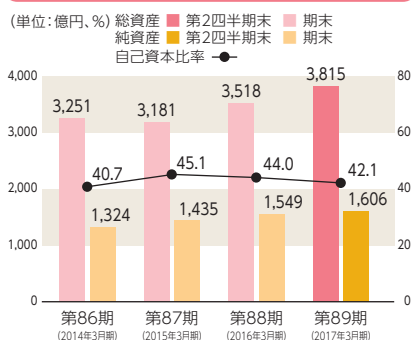
カー様との協働を深化することにより、一層の事業基盤強化を図ってまいります。

当事業年度は中期経営計画の2年目にあたり、社内では重点戦略についてそれぞれ着実に実行及び改善を進めております。小売業様・メーカー様をはじめ運送業者様・関係会社様と協力してそれらに取組んでまいりました結果、当第2四半期の業績につきましては、前年・計画を上回る結果(実績)となりました。これもひとえに投資家の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様の温かいご支援の賜物と深謝申し上げます。これからも小売業様・メーカー様のお役に立ち、『社会に真に必要なとされる中間流通業』として、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

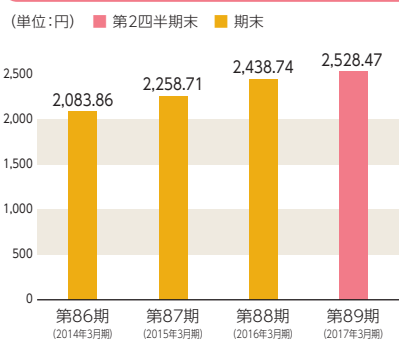
株主の皆様におかれましては、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

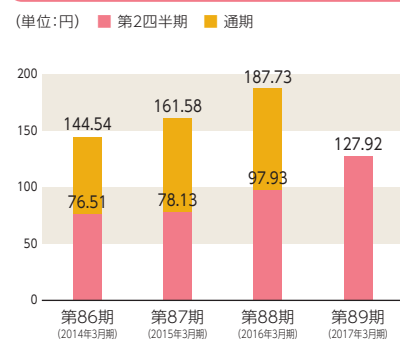
総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり純資産額



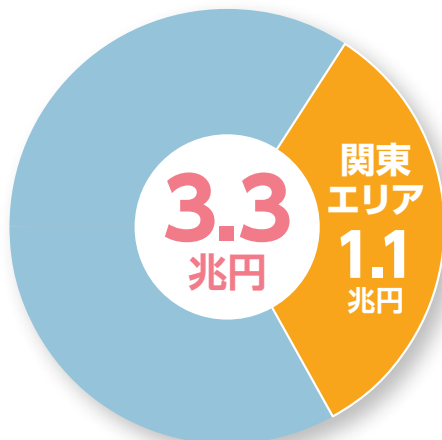
1株当たり四半期(当期)純利益



※2016年3月期から、会計方針の変更等を行っております。これに伴い、2015年3月期実績は、変更後の会計方針により遡及修正した数値を記載しております。
なお、2014年3月期の実績には反映しておりません。

なるほどPALTAC!

卸流通の市場規模 (化粧品・日用品、一般用医薬品)



1/3が**関東エリア**に集中し最大の市場となっています

※市場規模: 全国3.3兆円及び関東エリア1.1兆円は当社推計。

最大市場である関東エリアにおける取組み

RDC関東の稼働 (2015年8月)

当社最大規模のRDC

- 関東エリア全体の物流生産性の向上を図る
- 小売業様・メーカー様の業務効率化も実現



RDC関東 外観

概要

所在地
埼玉県白岡市
出荷能力
800億円
総投資額
115億円

(仮称)FDC白岡の稼働 (2017年4月予定)

RDC関東の機能を最大化

- 発注頻度の高いケース商品をFDC白岡で在庫することによりRDC関東の運用効率化を図る



(仮称)FDC白岡 完成予想図

概要

所在地
埼玉県白岡市
出荷能力
250億円
総投資額
30億円

一体運営
隣接地で運用

出荷能力は年間**2,500億円(+27%)**

関東エリアの 事業基盤強化

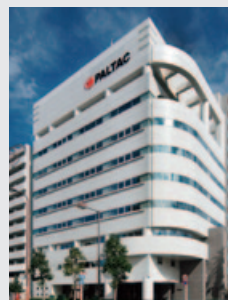
関東エリアの組織再編 (2016年11月1日付)

旧・東京支社
(千葉県浦安市)

旧・関東支社
(群馬県館林市)

統合

新・東京支社
(東京都北区)



新・東京支社 外観

統合により

新社屋へ移転 (2016年6月取得)

目的

関東エリア全体の コントロールセンター

- 経営の効率化
- サービス機能の充実
- 部門間コミュニケーションの向上

※RDC (Regional Distribution Center) とは、大型物流センターのことをいいます。

※FDC (Front Distribution Center) とは、発注頻度の高いケース商品を在庫し、RDCを支援する物流センターのことをいいます。

※組織再編: 支社名に付けている「新」「旧」については統合経緯を分かり易くするために付けており、実際の支社名には付きません。

株主還元について

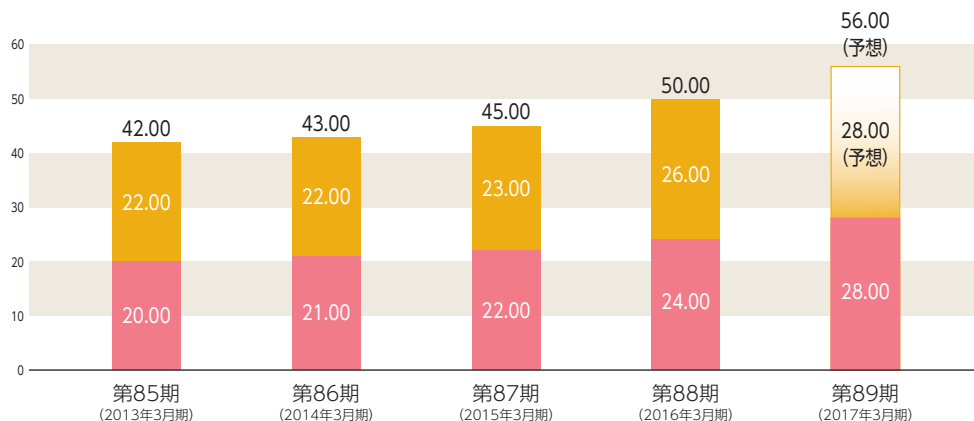
当期の中間配当金につきましては、売上高及び各段階利益ともに予想を上回り増収増益となりましたので、1株当たり中間配当金を前回予想に比べて1円増配し28円といたしました。また、期末配当金の予想につきましても1円増配し28円といたしました。

これにより、1株当たりの年間配当金は前期に比べ6円増配の56円となる見込みです。

配当実績／配当予想

(単位:円) ■ 中間 ■ 期末

7期連続して増配(予想含む)

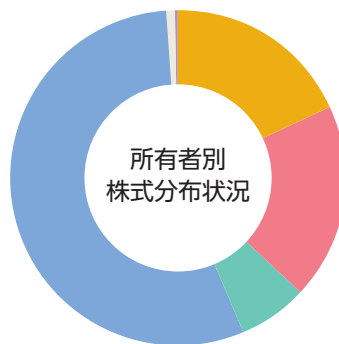


※連続増配は株式分割に伴う実質増配を含む。

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 ※自己株式含む	63,553,485株
株主数	4,608名

※自己株式5,858株



所有者別 株式分布状況

金融機関	11,572千株 (18.21%)
外国株主	11,942千株 (18.79%)
個人株主	4,319千株 (6.80%)
その他法人	35,126千株 (55.27%)
証券会社	586千株 (0.92%)
自己株式	5千株 (0.01%)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	3月31日、9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード8283)
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします (公告掲載URL) http://www.paltac.co.jp/ 但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載する

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金に関するお手続き、その他株式事務に関する一般的なご照会につきましては、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

単元未満株式について

単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様は、当社に対しその単元未満株式の買取を請求することができます。買取請求のお手続きの方法等につきましては、お取引のある口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

ホームページのご案内



詳しい会社情報や
財務関連情報をご
覧いただけます。



PALTAC IR 検索

<http://www.paltac.co.jp/>

社会インフラとして生活を支えつづけて110余年



見通しに関する注意事項

この中間株主通信に記載されている当社の計画、見通し、戦略などは、日本経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見通しと異なる可能性がありますことをご承知おください。



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。